

平成２９年 第５回教育委員会 会議録

日 時	平成２９年４月２５日（火） 午前１０時～午前１０時４４分
場 所	向日市役所 大会議室
出席委員	永野教育長、前田委員、白幡委員、松本委員、流石委員
事 務 局	教育部長、副部長兼文化財調査事務所長、副部長兼文化資料館長、副部長兼生涯学習課長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課担当課長、学校教育課主幹２名、学校教育指導主事、中央公民館長、図書館長、天文館長、教育総務課係長、教育総務課主査２名
議 題	委員会諸報告
傍 聴 者	なし
教育長	開会宣言
教育長	会議規則の規定により、第４回会議録の承認について諮る。
	（全員異議なし）
教育長	会議録は承認された。 本日はまず、委員会諸報告として「平成２８年度学校教育課新規事業の実施状況について」の報告を願う。
事務局	— 平成２８年度学校教育課新規事業の実施状況について — 平成２３年度から特色ある学校づくり推進事業として、地域との連携により体験活動や教員・保護者を対象とした講演会や研修会等を実施していたが、平成２８年度から子ども未来づくり支援事業としてリニューアルし、新たに教員による先進校視察や若手教員への支援にも取り組んでいる。 また、不登校の課題等の対応のため、豊かな心のサポート事業として、心の相談サポーターを学校に派遣し、不登校の未然防止に取り組んでいる。
事務局	・子ども未来づくり支援事業について 子ども未来づくり支援事業の活動状況について、平成２８年度は小学校と中学校で合計１２９件の活用があった。 新たに取り組んだ若手教員育成について、向陽小学校と第３向陽小学校を除く市内の７校に教員ＯＢを派遣し、対象となる２年目から５年目までの教員２１名に授業づくりや参観、授業後のアドバイス、学級経営等の相談を実施した。

事務局	その後、対象教員にアンケートを実施し、４段階評価で平均が３．８７であった。 さらに、管理職からもアンケートをとり、評価は平均３．８６であった。 また、先進校視察については、授業づくり、児童生徒への声かけなどを中心に視察を行い、教職員の学びや波及につながっており、学校としての意識改革の基礎となっている等の評価があり、今後も続けてほしいという意見が多くあった。 ・豊かな心のサポート事業 豊かな心のサポート事業の実施状況について、臨床心理を学ぶ大学院生の７名を心の相談サポーターとして、小・中学校に延べ３１０日派遣した。 その対応人数は小学校で５１１名、中学校で２２６名、計７３７人であり、学期ごとの対応人数は、２学期以降増加をしているという状況であった。 サポーターによる対処児童・生徒への支援内容は、主に学習支援や教育相談という内容であった。 事業効果について、小学校では個々の状況に応じて支援することで、登校意欲が向上し、サポーターとの活動を楽しみに登校することができるようになった事例があった。 中学校については、学習支援だけではなく、教育相談支援を通して、対象生徒が自ら悩みや不安を打ち明けるなど、サポーターとの良好な関係を構築することができた。 特に、中学校三年生では、希望進路について相談するなど、意欲を向上させることができた。 【質疑等】
委員	子ども未来づくり支援事業における先進校視察について、教職員が研究発表に参加したとあるが、内容はどのようなものであったか。 また、視察先はどのように選定したのか。
事務局	教職員が、研究発表を行ったのではなく、研究発表会に参加したものである。 視察先については、先進校や向日市の学校の規模や研究に係る予算、人材が同等の学校を選定した。 特に研究資材等が潤沢に用意されていない環境での研究は、向日市の学校の規模や予算等でも実施可能で学校の発展につながると考えられる。

教育長	長良西小学校はどのような研究に取り組んでいるのか。
事務局	言語活動について取り組んでいる。
委員	視察を実施することにより教職員の意識改革につながる。 また、複数人で参加することにより新たな取組みにもつながるので、様々な場所を視察先として、今後も継続してほしい。
事務局	今年度も実施する予定である。
委員	豊かな心のサポート事業について、学習支援と教育相談は、どのような取組みをしているのか。また、当事業と学校とで連携しているのか。
事務局	小学校においては、臨床心理を学ぶ大学院生が、児童の主体的な学習意欲を丁寧に起こさせている。 また、教室には入室できない等の課題はあるが、学習意欲のある児童に対しては、学習支援を行っている。 中学校においては、生徒の話し相手や将来のやりたいことなどの悩み相談を教育相談の一環として行っている。 サポーターとスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの連携については、教頭先生に情報を集約しており、適宜必要な支援を行っている。
委員	豊かな心のサポート事業を利用した児童・生徒の実人数は把握されているか。
事務局	実人数については、この場で答えられない。 1学期については、豊かな心のサポート事業を児童・生徒に周知している期間であったため、利用した児童の数は少ない。 2学期、3学期については、事業についての周知もされ、1人の児童・生徒が複数回利用することも増加したため、1学期に比べ、利用者の延べ数は増加した。
委員	教育委員会は、個々への対応を把握しているか。
事務局	週ごとにどのサポーターが、どの児童に対し、どのような対応を行い、その結果どうなったかまで把握している。
委員	豊かな心のサポート事業については、中学生の進路相談にも役立っている点がいいと感じる。サポーターと生徒の年齢が近く話しやすいのではな

	いか。
事務局	サポーターは、事務的なことや決まり事に縛られることなく児童・生徒の相談を傾聴でき、良好な関係性を築けていると聞いている。
教育長	次に、委員会諸報告として「文化資料館催しについて」の報告を願う。
事務局	ー 文化資料館催しについて ー ・ゴールデンウィーク特別企画「鉄道模型運転会」 ゴールデンウィーク特別企画「鉄道模型運転会」については、連休を利用し、文化資料館に気軽に来場いただき、京都府下で初めて鉄道の駅が開設された歴史や市内に駅が5つもあるという向日市の特徴をPRすることを目的としている。 日時は、5月3日から5日までの3日間、午前、午後に分けて行う。 さらに、今回は、阪急電鉄のOBを中心とする篠山ロマン鉄道という鉄道模型クラブと協力し、昭和35年の国鉄向日町駅と駅前のまちなみ模型や篠山ロマン鉄道の模型やタワーやビルの模型等も活用しレイアウトを組む。 さらに、向日市の鉄道にまつわる歴史展示も実施する。 ・乙訓地域地形模型制作 乙訓地域地形模型制作については、向日市域だけではなく、乙訓地域について学ぶ機会を提供することを目的とする。 制作については、全てボランティアによるものとし、それによって市民相互の交流の場を創出する。 完成については、秋から冬までで予定しており、完成した模型は文化資料館内に展示する。 事前に説明会を5月21日に開催する。
委員	鉄道模型で走らせる電車は、どのような種類でどこのものを使用するのか。
事務局	基本的には、篠山ロマン鉄道から、乙訓地域で走っていた電車を借りる予定であり、来館者が持参した電車も走らせることも認め、電車の種類についても限定していない。
委員	乙訓地域地形模型制作について、模型制作は誰が指導するのか。
事務局	模型の制作については、職員が指導する。 地図の指導については、乙訓地域の調査員や大学の専門家に依頼する。

	必要に応じて、歴史講座として関連の講座を実施するなど検討している。
委員	以前、立体模型地図を見たことがあるが、とても分かりやすかった。 模型制作でも最新の技術や専門家により制作すれば、より良いものができるのではないか。
事務局	立体模型等の制作となると専門業者へ委託することになる。 乙訓の地形として、良いものを制作し、展示するという目的もあるが、それ以外にも模型の制作を通して、市民相互の交流をする目的もある。 特に文化資料館の運営にボランティア等で積極的な方の中には、模型制作に携わった方が多くいるため、新たに文化資料館における市民活動に参加される方を募集する機会としたい。 また、展示している既存の模型は、幅広い方から好評であるため、ボランティアによる制作は継続していきたい。
委員	チラシを配布する範囲はどのあたりか。 乙訓地域地形模型制作については、参加者の条件は何かあるか。
事務局	ゴールデンウィーク特別企画「鉄道模型運転会」については、市内の公共機関等に配架を依頼する。 また、市内の公立小学校の児童には各人に配布する。 乙訓地域地形模型制作については、向日市内で各戸回覧を実施する。 参加の対象については、条件等はない。
委員	ホームページでの募集は行うか。
事務局	募集の詳細事項を掲載予定である。
教育長	次に、委員会諸報告として「第4向陽小学校プール改修工事について」の報告を願う。
事務局	— 第4向陽小学校プール改修工事について — 工期については、平成28年度12月から3月までである。 工事に係る費用は、10,443,600円である。 工事内容は、利用者の転倒防止等のため、プールサイドと手洗い場のシートの張替えと2つのプールの槽に足裏に優しいシートを張るものであった。 また、維持管理として、手洗いの蛇口、プールの周囲のフェンスの修繕やプール出入り口の扉、フェンスの支柱等の改修工事を行った。

委員	資料の施工後の写真の東側プールの白いものは何か。
事務局	児童が休むための日陰をつくる設備である。
教育長	これまでの施工状況はどうであったか。
事務局	平成２７年度は第３向陽小学校を施工した。 平成２９年度は第２向陽小学校を施工予定である。
教育長	閉会宣言

平成28年度学校教育課新規事業の実施状況について

平成29年4月25日
学校教育課 指導係

平成23年度から、「特色ある学校づくり推進事業」として地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会や研修会等を実施してまいりましたが、平成28年度から『子ども未来づくり支援事業』としてリニューアルし、新たに教員による先進校視察及び若手教員への支援にも取り組んでおります。また、不登校の課題に対応するため、新たに『豊かな心のサポート事業』として心の相談サポーターを学校に派遣し、不登校の未然防止に取り組んでおります。両事業について、以下のとおり報告します。

【子ども未来づくり支援事業】

1 実施状況について

(1) 活用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学校	2	5	8	12	7	3	7	15	9	16	15	3	102
中学校	1	1	0	2	4	2	1	3	1	5	3	4	27
計	3	6	8	14	11	5	8	18	10	21	18	7	129

(2) 活用内容

[事業内容別実施数]									
児童生徒の体験活動						教職員研修			合計
	学力向上	体験活動	伝統文化	健康安全	計	校内研修	先進校視察	計	
小学校	8	11	21	6	46	35	21	56	102
中学校	2	3	4	5	14	9	4	13	27
計	10	14	25	11	60	44	25	69	129

平成27年度

[月別実施数：3月末現在]													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学校	1	5	5	12	3	4	10	10	7	19	6	5	87
中学校	2	2	4	2	1	1	1	4	2	3	1	7	30
計	3	7	9	14	4	5	11	14	9	22	7	12	117

[事業内容別実施数]					
	学力向上	体験活動	伝統文化	健康安全	合計
小学校	47	26	12	2	87
中学校	16	11	0	3	30
計	63	37	12	5	117

※学力向上に教職員研修の
校内研修も含まれています。

(3) 若手教員育成（各校4時間×5回） ※新規

- ・派遣校（教員OB：5人）及び対象人数

派遣校	2向	4向	5向	6向	勝山	西ノ岡	寺戸	合計
対象人数	4人	3人	2人	3人	4人	2人	3人	21人

- ・内容：授業づくり、学級経営

2 新たな取組について

(1) 先進校視察

各校の状況（研究内容等）によって、先進校を複数で参観や研究発表参加することにより、学んだ内容の波及や教職員への学びにつながっている。

- ・岐阜県長良市立長良西小学校、筑波大学附属小学校、横浜国立大学附属横浜中学校 など
- ・授業づくり（学習課題設定、発問内容）、児童生徒への声のかけ方 など

(2) 若手教員育成

2～5年目の教員を対象にしており、授業づくりの相談や参観、授業後のアドバイス、学級経営に至るまで自由に相談ができ、若手教員への支援になっている。

【豊かな心のサポート事業】

1 実施状況について

<平成28年度心の相談サポーター事業 実績一覧>

平成29年3月末現在

配置		実績 対象児童生徒数(人) * 延べ人数															
		1学期計				2学期計				3学期計				年間計			
		男	女	計	回数	男	女	計	回数	男	女	計	回数	男	女	計	回数
小学校	2向小	33	15	48 人	25 日	112	25	137 人	35 日	57	11	68 人	22 日	202	51	253 人	82 日
	3向小	26	8	34 人	23 日	54	8	62 人	29 日	46	6	52 人	27 日	126	22	148 人	79 日
	5向小	14	10	24 人	23 日	21	17	38 人	31 日	14	34	48 人	22 日	49	61	110 人	76 日
中学校	勝山中	14	51	65 人	25 日	39	45	84 人	28 日	40	37	77 人	20 日	93	133	226 人	73 日
計		87	84	171 人	96 日	226	95	321 人	123 日	157	88	245 人	91 日	470	267	737 人	310 日

<概要>

- ・年度当初から臨床心理を学ぶ大学院生6名(3学期に1名増員し計7名)を心の相談サポーターとして4つの小中学校に延べ310日派遣した。
- ・対応人数は延べ737人(小学校511人、中学校226人)である。
- ・対応件数は2学期以降増加している。
- ・サポーターによる対象児童生徒への支援内容は、主に学習支援や教育相談である。

2 事業の効果

(小学校)

- ・小学校では、個々の状況に応じたサポーターによる支援を通して男児2名が1学期後半からサポーターの出勤日に合わせて登校意欲を高め、2学期からはサポーターとの活動を楽しみに登校した。

(中学校)

- ・中学校においては、学習支援だけではなく、教育相談支援を通して、対象生徒が自分から悩みや不安を打ち明けるなどサポーターと良好な関係性を構築することができ、とりわけ中学3年生は希望進路の実現への意欲を向上させることができた。

平成29年4月25日
文化資料館

◎ゴールデンウィーク特別企画「鉄道模型運転会」

趣旨 ① 連休中の気軽なお出かけ先の一つとして資料館への来館をうながす。
② 府下で最初に駅が開設された歴史を持ち、今も交通至便な向日市の特徴をPRする。

日時 平成29年5月3日（水・祝）～5日（金・祝）
午前10時～正午、午後1時～3時（3日間とも）

内容 詳細は別紙ちらしのとおり

◎乙訓地域地形模型制作

趣旨 ① 乙訓古墳群が国史跡となり、関心が深まった乙訓地域について学ぶ機会を提供する。
② ボランティアにより制作することで、市民相互の交流の場を創出する。
③ 完成した模型を館内に展示し、資料館常設展示の充実を図る。

日時 【説明会】平成29年5月21日（日） 午後1時30分～午後3時30分
※6月以降、月1～2回程度活動予定

内容 詳細は別紙ちらしのとおり

第4 向陽小学校プール改修工事について

平成29年4月25日
教 育 総 務 課

- 1 工 期 平成28年12月22日から平成29年3月28日まで
- 2 請負金額 10,443,600円
- 3 施工業者 (株)ベイス
- 4 工事内容 床張替え（プールサイド、プール槽、洗体槽、手洗場）
取替え（手洗蛇口、フェンス）
塗装修繕（出入口扉、フェンス支柱等）

【施工前】



【施工後】

○東側プール



○西側プール

